

第1回次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を実現する有識者会議の開催について

令和元年5月30日
企画管理部教育政策課

第3期千葉県教育振興基本計画の策定に向けて、千葉県教育の施策や具体的な取組について、大学教授等の有識者・専門家から意見を聴取するため、「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を設置しました。

この第1回の会議を令和元年5月9日（木）午後4時から、知事も出席して開催しました。

会議では、座長に貞廣齋子氏、副座長に中山理氏に御就任いただいた後、各委員から千葉県の教育のあり方や第3期計画策定の方向性などについて幅広く御意見をいただきました。

1 日 時 令和元年5月9日（木）午後4時から午後6時30分まで

2 場 所 ホテルポートプラザちば 2階「ロイヤル」

3 内 容

- (1) 挨拶（知事、教育長）
- (2) 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を推進する懇話会 論点まとめについて
- (3) 意見交換（委員の自己紹介及び教育に関する考えについて）

4 出席委員

天笠茂委員、大田紀子委員、久留島浩委員、最勝寺奈苗委員、貞廣齋子座長、
銭谷眞美委員、中山理副座長、福中儀明委員、渡部茂樹委員
（鈴木みゆき委員は所要のため欠席）

5 委員の主な意見

- 次期計画の策定に向けて、千葉ならではの持ち味を生かしつつ、県として足りないところをどう補っていくかということを議論していく必要がある。
- 千葉県の学校を、高い能力と気持ちを持った学生に選んでもらえる職場にしていきたい。
- 千葉県が持つ歴史文化資産や、質の高い博物館を活用した、千葉県ならではの教育を進めることができるとよい。
- 千葉は首都圏にありながら、非常に自然が豊かで、山も川も海もある。そうした自然の魅力を生かした教育を、次期計画に盛り込んでいただきたい。
- あらゆる教育の原点は家庭にあるので、社会全体で子供を育てるという観点から、積極的に家庭教育を支援する必要がある。
- 部活動指導や外国人児童生徒の日本語教育、貧困家庭の子供への学習支援などに、退職後の教員を活用することもできるのではないか。
- 経団連が国に提出した意見書に、新しい教育課題に対応できる教員の養成確保がある。千葉県教育の目指す姿に、教員の目指す姿があればいいと感じている。
- 色々な学びの手法を駆使し、解答のないようなテーマを主体的に取り上げさせる教育を展開していかないと、時代の激しい変化についていけなくなる。
- 学校の再配置という面で、千葉のどこに住んでいても、非常にいい教育が受けられるということを担保していただきたい。